

産業建設常任委員会会議記録
(条例等審査)

1. 開催日	平成31年2月28日(木)
2. 場所	議員協議会室
3. 出席議員	大上和則委員長、吉田知代副委員長、渡辺拓道委員、園田依子委員、足立義則委員、國里修久委員
4. 会議に付した事件	議案第15号 篠山市基金条例の一部を改正する条例 議案第16号 篠山市手数料徴収条例の一部を改正する条例 議案第17号 丹波篠山ふるさと乾杯条例の一部を改正する条例

5. 議事の経過
大上委員長 開会宣告 大上委員長 あいさつ
■日程第1 議案第15号 篠山市基金条例の一部を改正する条例
【主な説明】 農都創造部より説明
【主な質疑】 渡辺委員 篠山市において、林業費への一般財源の充当額はどの程度か。 農都創造部 平成30年度当初予算で65,000千円の一般財源である。 渡辺委員 森林環境譲与税によって市の既存事業を拡充していこうとの考えはあるのか。 農都創造部 平成31年度は伐採事業に充当していこうと考えているが、林業施策は息が長く、効果が出るまでかなり年数がかかるので、林業の専門家が腰を据えてかからないとうまくいかない可能性がある。県では林業専門家の人材バンクを設け、市の林政をサポートしようとしていることから、そうしたことに加え都市間交流など多角的に活用していきたい。 渡辺委員 森林環境譲与税を有効に活用できるよう計画していくことが重要だと考えるので、検討されたい。 農都創造部 篠山市ふるさとの森づくり構想の実行部隊として、人工林部会・二次林部会・木育部会があり、その中で森林環境譲与税の活用方法についても議

論されていることから、今後具体化に向けて動いていきたい。

■日程第2 議案第16号 篠山市手数料徴収条例の一部を改正する条例

【主な説明】

農都創造部より説明

【主な質疑】

渡辺委員 林地台帳において、境界の確定に資する測量を実施済みの場合、データはどこが保管しているのか。市が持っているのか。

農都創造部 境界の確定に資する測量は、森林組合などが行っている森林境界明確化事業が代表的なもので、市が保有しているデータは申請に応じて提供できる。林地台帳制度は市のデータと森林の位置情報をセットにして公開しようとするものである。

渡辺委員 森林境界明確化事業のデータはまとめて保存されているのか。

農都創造部 一団地ごとに電子データと紙資料がセットになっており、県からは森林台帳基礎データが市へ届いているので、それらを関連付けてデータをパソコンに保存することで閲覧に供し、必要な場合は500円で交付できる。

大上委員長 これまでに交付した件数はどの程度か。

農都創造部 4月からの運用であり実績はないが、紙資料の閲覧では年間30~40件あった。林地台帳は国の登記データや市の地図データなどが一緒に見られることがメリットで、これらによって森林施業が進むと期待されている。

渡辺委員 施業図全体を入手することはできないのか。

農都創造部 施業図は県が管理しており、1/5,000地図を1枚500円で購入できる。今後地籍調査が進めば、特定の地番が全体図の中のどこにあるか分かるようになることから、地図データの精度を上げられるように作業を進めていきたい。

■日程第3 議案第17号 丹波ささやまふるさと乾杯条例の一部を改正する条例

【主な説明】

農都創造部より説明

【主な質疑】

なし

■表決

議案第15号 篠山市基金条例の一部を改正する条例

議案第16号 篠山市手数料徴収条例の一部を改正する条例

議案第17号 丹波篠山ふるさと乾杯条例の一部を改正する条例

—討論なし・全員賛成で可決—

大上委員長 委員会の審査報告については、委員長に一任願いたい。

—異議なし—

■閉会

吉田副委員長 あいさつ